

令和6年度未来価値創造研究教育特区型 JIRITSU(自立)フェローシップ生募集要項  
(令和4年12月現在、博士前期課程または修士課程に在籍する1年次、  
一貫制博士課程に在籍する令和4年4月1日入学の1年次、獣医学部に在籍する6年次対象)

## 1. 制度の概要

JIRITSU(自立)フェローシップ制度(以下、FL-JIRITSU)は、本学大学院博士課程に在籍する学生を対象に、自由な発想をもって主体的に研究課題等に取り組む期間を与え、必要な資金をフェローシップとして支給する制度です。尖端研究力を獲得し、事業展開や社会実装等の経験を経て、社会貢献できる若手人材の自立促進を支援することを目的としています。JIRITSU(自立)フェローシップ制度実施要項に基づいて実施するものとし、FL-JIRITSU支給対象学生は、共同研究などの研究ミッションを明確にし、研究に邁進することが求められます。また、集中して研究を行う環境が用意されるため、一層主体的に研究課題等に取り組み、世界で通用する若手研究人材としての自立促進が求められます。

## 2. 公募の目的

本フェローシップは博士課程相当の学生対象ですが、現在博士前期課程または修士課程相当の学生を対象に令和6年度の対象学生を先行募集します。博士課程進学時の経済的支援を保証することで、生活費等の心配を払拭し、研究に集中できる環境を提供します。

## 3. 支援開始時期

令和6年4月

## 4. フェローシップ

1学生につき年額250万円×3年間(原則)=750万円支給されます。

### 【年額250万円の内訳】

- ・研究専念支援金…240万円
- ・研究費…10万円

※ 研究専念支援金は、雑所得として扱われるので、所得税・住民税の課税対象となります(各自で確定申告が必要)。また、原則として2ヶ月毎まとめて支給されます。

## 4. 学生の申請資格

本学博士課程へ進学して、研究に専念することを強く希望し、優れた研究能力を有し、受入教員が推薦(5.を参照)する、以下の要件を満たす者。

令和4年12月1日現在、本学大学院課程に本籍を置き、次のいずれかに該当する者。

- (1) 博士前期課程または修士課程に在籍する1年次で令和6年3月に修了予定の学生
- (2) 獣医学部に在籍する6年次で令和5年4月に博士課程に進学予定の学生
- (3) 一貫制博士課程に在籍する令和4年4月1日入学の1年次で令和6年4月に3年次へ進級予定の学生

・上記に関わらず、博士課程進学時に以下のいずれかに該当する者は申請資格を満たしません。  
(ひとつでも該当しましたら申請出来ません)

- (1) 国費外国人留学生

- (2) 外国政府派遣留学生
- (3) 大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（年額 240 万円相当）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる者
- (4) 重複受給ができない他の奨学金等を受給している者

## 5 受入教員の負担金

学生に支給する研究専念支援金及び研究費（年額 250 万円／人×3 年間＝750 万円）のうち、博士課程在学中に以下のいずれかの資金から年額 60 万円／人×3 年間＝180 万円を負担いただきます。

ただし、特区からの補填金（年間 20 万円）を差し引いていますので、特区の予算状況によっては今後変動する可能性があります。

- (1) 大学運営費
- (2) 寄附金（使途に制限のないもの）
- (3) 共同研究費（共同機関がフェローシップとしての支出を認めているものに限る。）
- (4) その他配分機関がフェローシップとしての支出を認めている資金

※負担金を(3)共同研究費あるいは(4)その他配分機関がフェローシップとしての支出を認めている資金とした場合、研究専念支援金に消費税相当額 10%を加えた金額が差し引かれます。

※採択後に負担経費の変更が可能です。申請書には予定する経費をご記載ください。

## 6. フェローシップ支給対象学生予定人数

2 名

## 7. 募集スケジュール

募集期間：令和 5 年 2 月 6 日（月）まで

## 8. 選考スケジュール

令和 5 年 2 月中旬から下旬：面接審査。FLOuRISH 選考委員会による選考。

令和 5 年 3 月 3 日(金)まで：支給対象学生決定

令和 6 年 4 月 支援開始

※4.学生の申請資格 (2) の要件を満たす場合、共同獣医学専攻に進学後の令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月までは支援対象期間外です。

## 9. 選考基準

面接および以下の項目を基準に選抜する。

- ①「尖端研究力獲得への展望」、②「尖端研究力を活かした事業展開や社会実装等」、「広い視野からの社会貢献への展望」
- ③「学業・研究業績」

-

## 10. 申請方法（申請締め切り：令和 5 年 2 月 6 日（月） 17 時）

【提出先】下記まで指導教員からメール添付にて提出してください。

東京農工大学学務課教育支援室

Mail : jisedai-fl@m2.tuat.ac.jp TEL : 042-367-5943

【申請書類等】申請書類等は、以下 URL または QR コードからダウンロードしてください。



- ・ FL-JIRITSU 募集要項
- ・ 様式 2 「FL-JIRITSU 所見書」
- ・ 様式 3 「FL-JIRITSU 研究計画書」
- ・ 東京農工大学未来価値創造研究教育特区型 JIRITSU(自立)フェローシップ制度実施要項

## 11. 注意事項

- 本フェローシップの採択をもって、博士課程への進学が確約されるものではありません。博士課程進学のために通常の手続き（出願・選抜等）を経る必要があります。
- 対象学生として採択された後、下記事項に該当した場合は資格取り消しとなります。
  - ・ 本学博士課程に進学しなくなった場合。
  - ・ 日本学術振興会特別研究員に採用された場合、または本フェローシップと重複受給ができない奨学金の採択が決定した場合。ただし、本フェローシップ採択後に各種奨学金等への申請を妨げるものではありません。また、本学の研究奨励金「JIRITSU(自立)」制度との重複受給は可能です。
  - ・ 博士課程進学時に大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（年額 240 万円相当）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ることとなった場合。
- いわゆる留年等により標準修業年限を超えて在学しても、それ以降の支給は行いません。
- 申請に際しては、「東京農工大学未来価値創造研究教育特区型 JIRITSU(自立)フェローシップ制度実施要項」を参照してください。

### 《問い合わせ先》

東京農工大学学務課教育支援室

TEL : 042-367-5943

Mail : jisedai-fl@m2.tuat.ac.jp

## 令和6年度 FLOuRISH 特区型 JIRITSU(自立)フェローシップ制度所見書

申請者氏名	所属等	〇〇研究科・学府    〇〇専攻    〇〇年次
	学籍番号	
	フリガナ 氏名	
	アルファベット表記	
予定する研究 専念支援の原 資	<p>該当する原資のチェックボックス(□)を■に変更してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 大学運営費</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 寄附金(使途に制限がないもの)</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 共同研究費(共同機関がフェローシップとしての支出を認めているものに限る。)</p> <p><input type="checkbox"/> 4. その他配分機関がフェローシップとしての支出を認めている資金</p> <p>※連合農学研究科の茨城大学、宇都宮大学の学生の場合、指定できる財源は1.大学運営費と2.寄附金に限ります。応募する場合、下記の財源欄に「大学運営費希望」or「寄附金希望」とだけ記載して下さい。</p>	
受入教員の 所見	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>申請者が</p> <p>「①先端研究力獲得への展望についてどのように先端研究力を獲得していく展望があるのか」</p> <p>「②先端研究力を活かした事業展開や社会実装等、広い視野からの社会貢献への展望(自身が先端研究力を活かし、どのような社会貢献への展望があるのか。)」</p> <p>「③学業成績及び研究業績の優秀な者で、事業展開や社会実装への広い視野を持つことで、将来、先端研究力に基づき多様なキャリアで社会に貢献できると見込まれること。」</p> <p>についての所見を入力する。</p> </div>	

実施要項・募集要項の記載を理解し、学生から提出のあった様式3の内容、及び上記内容に相違ないことを確認したうえで、フェローシップ支給を希望します。

令和 年 月 日

受入教員所属 : \_\_\_\_\_

氏名 : \_\_\_\_\_ Mail \_\_\_\_\_

## 令和 6 年度 FLOuRISH 特区型 JIRITSU(自立)フェローシップ制度研究計画書

## 1. 履 歴 等

(フリガナ) 氏 名	( )	アルファベット表記 姓： 名：	
国籍		学籍番号	
連絡先	携帯番号： e-mail：		
所属	所属：東京農工大学大学院 _____ (研究科・学府) _____ 専攻 所属研究室： _____ 受入教員名： _____ 受入教員内線： _____ 受入教員 e-mail： _____		
学 歴	1. 令和 ____ 年 ____ 月 _____ 大学大学院修士課程（博士前期課程）入学 （ _____ (研究科・学府) _____ 専攻） 2. 令和 ____ 年 ____ 月 東京農工大学大学院修士課程（博士前期課程）修了予定 （ _____ (研究科・学府) _____ 専攻） 3. 令和 ____ 年 ____ 月 東京農工大学大学院博士課程（博士後期課程）入学予定 （ _____ (研究科・学府) _____ 専攻）		
申請資格 確認欄	<p>募集要項「4. 学生の申請資格」の内容を満たしていることを確認したうえで、以下の各チェックボックス（□）を■に変更してください。全ての項目が確認されていることを前提に選考を行います。</p> <p><input type="checkbox"/> 博士課程進学時に以下のいずれかに該当することはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国費外国人留学生</li> <li>・外国政府派遣留学生</li> <li>・大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（年額 240 万円相当）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められること</li> <li>・重複受給ができない他の奨学金等を受給すること</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 対象学生に採択後、以下のいずれかに該当することになった場合、資格が取り消しとなることについて理解しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学博士課程に進学しなくなった場合</li> <li>・日本学術振興会特別研究員に採用された場合、または本フェローシップと重複受給ができない奨学金の採択が決定した場合</li> <li>・博士課程進学時に大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（年額 240 万円相当）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ることとなった場合</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 科学技術振興機構に必要な個人情報を提供することを了承し、メール等で連絡があった場合は速やかに対応いたします。</p> <p><input type="checkbox"/> 東京農工大学未来価値創造研究教育特区型 JIRITSU(自立)フェローシップ制度実施要項を読み、「学生が果たすべき義務」、「実施報告」、「支給資格の取消」、「フェローシップの返還」などについて理解しました。</p>		

上記内容に相違ありません。

令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

氏名： \_\_\_\_\_

研究目的・内容、年次計画（受入教員と良く相談のうえ記入すること。）

<p><b>研究課題</b> ※化学式・数式の使用は極力 避けること（40文字以内）。</p>	
<p><b>研究目的・内容（1ページ以内で記述すること。）</b></p>	

**年次計画（1ページ以内で記述すること。）**

（令和5年度：修士課程2年次相当時での計画）

（令和6年度以降：博士課程での計画）

1. 先端研究力獲得への展望（自身がどのように先端研究力を獲得していく展望があるのかを1 ページ以内で記述すること。）



2. 先端研究力を活かした事業展開や社会実装等、広い視野からの社会貢献への展望（自身が先端研究力を活かし、どのような社会貢献への展望があるのか1ページ以内で記述すること。）

### 3. 学業・研究業績

(下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。)

- (1) 学術雑誌等に発表した論文、著書（査読の有無で区分して記載してください。印刷済及び採録決定済のもののほか、投稿中、審査中のものも記載できますが、投稿準備中のものは除く。）後ほど、投稿済みであることを証明できる受理通知などの控えの提出をお願いすることがあります。  
著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。
- (2) 学術雑誌等における解説、総説
- (3) 国際学会等における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。）  
著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申込みが受理されたものは記載しても構いません。その場合は、＜発表決定＞と記載してください。）
- (4) その他学会等における発表  
(3)と同様に記載してください。
- (5) その他（受賞歴、その他の研究活動における成果）

#### 【論文】

(査読有り)

- 1) 農工太郎、小金井花子、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57－62、2020
- 2) 農工太郎、府中治郎、小金井花子、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、△△出版、○号、pp17－22、2018  
＜採録決定＞

(査読なし)

- 1) 府中治郎、農工太郎、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp33－39、2015

#### 【学術雑誌等における解説、総説】

- 1) 農工太郎、・・・「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57－62、2016

#### 【国際学会等における発表】 ※発表者に○を付すこと※

(口頭発表 査読有り)

- 1) ○Noko T, Koganei H, Fuchu J、・・・「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2015)＜発表決定＞

(口頭発表 査読なし)

- 2) ○Noko T, Fuchu J、・・・「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Hawaii, USA、(Dec 2020)

(ポスター発表 査読なし)

- 3) ○Noko T, Kobatake H、・・・「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、London, UK、(June 2020)

#### 【その他学会等における発表】

(口頭発表 査読無し)

- 1) ○農工太郎、小金井花子、・・・「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2018年9月

#### 【受賞歴等】

- 1) 学振太郎、・・・「(賞の名称)」、2017年4月

#### 【その他の研究活動上の成果】

なし

注1) 赤字は記載例です。記載の際は、記載例を削除し、黒字で記載してください。

注2) このページの項目の幅は自由に変えてもかまいません。